平成２９年度第１０回 地域連携推進機構運営会議 議事要旨

日　時: 平成２９年１２月１日（金）　１０：００～１１：１０
場　所: 本部管理棟 ２階 第２会議室
出席者: 須加原 一博（議長（機構長)), 屋 宏典（副機構長 兼 産学官連携部門長), 背戸 博史（地域連携企画室長), 遠藤 光男（生涯学習推進部門長), 玉城 理（産学官連携部門 専任教員), 柴田 聡史（生涯学習推進部門 専任教員), 小島 肇（地域連携企画室 特命教員), 島袋 亮道（地域連携企画室 特命教員), 宮里 大八（地域連携企画室 特命教員), 空閑 睦子（生涯学習推進部門 特命教員), 糸数 温子（生涯学習推進部門 特命教員), 瀬名波 出（産学官連携部門 併任教員), 新田 早苗（総合企画戦略部長）
欠席者: 下地 みさ子（産学官連携部門 特命教員), 新川 武（産学官連携部門 併任教員), 金城 邦夫（総合企画戦略部 地域連携推進課長）
陪席者: 下地 孝之（総合企画戦略部 地域連携推進課 課長代理), 大城 光雄（総合企画戦略部 地域連携推進課 地域連携推進係長), 與儀 あゆみ（総合企画戦略部 地域連携推進課 産学連携推進係長), 菅野 達之（総合企画戦略部 地域連携推進課 課員), 仲嶺 天展（総合企画戦略部 地域連携推進課 地域連携推進係員）

※審議に先立ち，１０月２６日開催の平成２９年度第８回運営会議，１１月１５日開催の第９回運営会議（メール会議）の議事要旨案について確認があり，了承された。

＜審議事項＞
議長から，次の３つの事項について機構の今後の対応について審議を行う旨提案があり，各担当から説明の上，審議を行った。

1. 地域連携推進機構の併任教員に関する申し合わせ（改正案）について
屋部門長から，資料（審議１）に基づき改正案について説明があった。
審議の結果，原案どおり了承された。

2. 平成３０年度公開講座の実施について
遠藤部門長から，資料（審議２）に基づき公開講座の実施依頼について説明があった。
審議の結果，原案どおり公開講座の実施を各部局等へ依頼することについて了承された。なお，実施依頼に係る様式中のＣＯＣ事業の後継事業名称については，今後検討することとなった。

3. 平成３０年度公開授業の運営について
遠藤部門長から，資料（審議３）に基づき公開授業の運営について説明があった。
審議の結果，原案どおり了承され，手続きの進め方については地域連携推進課と教育支援課とで調整することとし，引き続きグローバル教育支援機構に協力を依頼することとなった。併せて，関連する申

合せの制定を依頼することとなった。

＜報告事項＞

議長から，次の４つの事項について機構の現状の認識と情報の共有を図るため，各担当から報告を行うよう発言があった。

1. 地域貢献型大学としてのブランド確立に向けた地域貢献事業循環型モデルに関する具体的方策等について（第一次答申）

背戸室長から，資料（報告１）に基づき第一次答申について報告があった。

2. 第９４回琉大２１世紀フォーラムの開催について

與儀係長から，資料（報告２）に基づき開催について報告があった。

3. 平成３０年度国立大学法人運営費交付金の重点支援の評価結果（原案）について

下地課長代理から，資料（報告３）に基づき評価結果（原案）について報告があった。主な意見は以下のとおり。

- Ｂ評価とされているのは，ＫＰＩの数値とアウトプットとの関連性が不明瞭，と見られてしまったからであると思われる。（新田部長）
- 書ける内容は十分にあるはずなので，他の戦略や他大学の書きぶりを参考にして改善点を検討した方が良い。（背戸室長）
- 協定を締結した先と，どのような取組をしてどのような成果が上がったのか，ということは説明できるようにしなければならない。（須加原議長）

4. 各室・部門の当面の活動予定（主要事項）について

各室・部門から，資料（報告４）に基づきそれぞれ報告があった。